<table>
<tr><td rowspan="4">基本計画の体系</td><td colspan="3">基本目標３　函館への愛着や誇りと未来へ飛躍する力の育成</td></tr>
<tr><td colspan="3">施策１　函館への愛着や誇りを育む教育の推進</td></tr>
<tr><td colspan="3">１　地域資源を活用した教育活動の推進</td></tr>
<tr><td colspan="3">(1)豊かな地域資源を教材として活用し，函館のまちの良さを感じることができる教育活動を推進します。</td></tr>
<tr><td>その他計画の位置付け</td><td colspan="3">□基本構想実施計画　　■教育行政執行方針
■その他（過疎地域持続的発展市町村計画）</td></tr>
<tr><td>事業名</td><td>地域資源を活用した教育活動の推進</td><td>担当課</td><td>教育指導課</td></tr>
<tr><td>事業概要（目的等）</td><td colspan="3">函館の歴史や文化，自然などを教材として活用し，函館のまちの良さを感じることのできる教育活動を推進する。</td></tr>
<tr><td>取組実績</td><td colspan="3">【取組実績】
・各学校において，校外学習や宿泊研修などを通し，函館の歴史や文化，自然などに直接触れる体験活動を行った。
・小学校３，４年生において，社会科副読本「わたしたちの函館」を活用した。
・小学校社会科副読本を活用した「縄文に触れる学習」についての指導計画を基に，市立小学校３年生が，垣ノ島遺跡，大船遺跡，縄文文化交流センターへの見学，体験を行った。
・将来のまちづくりを担う子どもたちが，函館の良さや課題などのまちの現状を見つめるとともに，函館の歴史や魅力，先人達の働きなどを学ぶことができる「函館ＴＯＭ向上推進事業　まちを理解する小学生向けオリジナル映像」を小学校３，４年生の社会科授業の中で活用した。
・郷土の歴史について理解を深めるとともに，自分たちの住むまちへの愛着や誇りをもつことができるよう，中学生向けに函館郷土の歴史人物読本「函館をつくりあげた人物たち」を作成した。</td></tr>
<tr><td>成果と課題</td><td colspan="3">【成果】
・校外学習や宿泊研修などの体験活動や社会科副読本を活用した学習などを通して，児童生徒の函館の歴史や文化，自然などについての理解を深めることができた。

【課題】
・各学校においては，地域資源の効果的な活用等，人とのつながりから函館のまちの良さを実感できるような教育活動を，工夫・改善しながら推進していく必要がある。</td></tr>
<tr><td>評価</td><td>○</td><td colspan="2">
<table>
<tr><th colspan="2">進　捗</th><th colspan="2">成　果</th><th colspan="2">課　題</th></tr>
<tr><td></td><td>予定どおり</td><td></td><td>成果が十分</td><td></td><td>課題はない（ほとんどない）</td></tr>
<tr><td>✔</td><td>概ね予定どおり</td><td>✔</td><td>成果が一定程度</td><td>✔</td><td>課題は小さい</td></tr>
<tr><td></td><td>やや遅れ</td><td></td><td>成果が不十分</td><td></td><td>課題はやや大きい</td></tr>
<tr><td></td><td>遅れ</td><td></td><td>成果が見られない</td><td></td><td>課題は大きい</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>今年度の状況</td><td>継続</td><td colspan="2">地域資源を活用した教育活動について，各学校が成果と課題に基づき次年度の教育活動に生かすとともに，他校の実践例を取り入れることができるよう，各学校への指導・助言を行う。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="4">基本計画
の 体 系</td><td colspan="3">基本目標３　函館への愛着や誇りと未来へ飛躍する力の育成</td></tr>
<tr><td colspan="3">施策１　函館への愛着や誇りを育む教育の推進</td></tr>
<tr><td colspan="3">１　地域資源を活用した教育活動の推進</td></tr>
<tr><td colspan="3">(2)授業や課外活動などにおいて，様々な専門家から直接指導を受ける機会の充実を図ります。</td></tr>
<tr><td>その他計画
の位置付け</td><td colspan="3">□基本構想実施計画　　■教育行政執行方針
□その他（　　）</td></tr>
<tr><td>事 業 名</td><td>市立函館高等学校における「函館学」の充実</td><td>担当課</td><td>市立函館高等学校，教育指導課</td></tr>
<tr><td>事業概要
（目的等）</td><td colspan="3">学校設定科目「函館学」において，函館学基調講演会や函館学講座などで地域人材を活用するとともに，地域探究学習として地域施設や自然を活用して地域理解を深める。</td></tr>
<tr><td>取組実績</td><td colspan="3">【取組実績】
・学校設定科目「函館学」において，「地域を学ぶ／地域で学ぶ」をモットーに地域で活躍する人材を活用して，函館学基調講演会や函館学講座等を行った。
・８年目を迎えた「地域探究学習」では，福祉・教育・子育て・地方行政・科学・生物など多岐にわたる46講座を開設し，生徒が校外へ出向き，函館地域で行われている講座に参加した。

【過去５年間の推移】地域人材を活用した講演等の実施状況　（単位：回）
<table>
<tr><th>区分</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr>
<tr><td>講演・講座数</td><td>63</td><td>80</td><td>60</td><td>58</td><td>67</td></tr>
</table>
※R5年度入学生から定員減(6クラス240名→5クラス200名)のため，講座の見直しを実施</td></tr>
<tr><td>成 果 と
課　　題</td><td colspan="3">【成果】
・「函館学」における基調講演会の回数増により，生徒の参加機会を増やすとともに，基調講演会や講座等を通じて，生徒の地域理解が深まった。
・「地域探究学習」を通じて，生徒に地域の課題解決を自分ごととして捉えるなどの当事者意識が育まれた。
・その成果により，地域のボランティア活動への参加などの行動につながった。

【課題】
・内容についての検証改善サイクルをさらに充実させ，探究的観点からより深い学びに結び付けていく必要がある。</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>◎</td><td colspan="2">
<table>
<tr><th colspan="2">進　捗</th><th colspan="2">成　果</th><th colspan="2">課　題</th></tr>
<tr><td>✔</td><td>予定どおり</td><td>✔</td><td>成果が十分</td><td></td><td>課題はない（ほとんどない）</td></tr>
<tr><td></td><td>概ね予定どおり</td><td></td><td>成果が一定程度</td><td>✔</td><td>課題は小さい</td></tr>
<tr><td></td><td>やや遅れ</td><td></td><td>成果が不十分</td><td></td><td>課題はやや大きい</td></tr>
<tr><td></td><td>遅れ</td><td></td><td>成果が見られない</td><td></td><td>課題は大きい</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>今年度の
状　　況</td><td>継続</td><td colspan="2">地域の学校として，地域の様々な人的資源を有効に活用し，地域に開かれた教育の充実を推進する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="4">基本計画
の 体 系</td><td colspan="3">基本目標３　函館への愛着や誇りと未来へ飛躍する力の育成</td></tr>
<tr><td colspan="3">施策１　函館への愛着や誇りを育む教育の推進</td></tr>
<tr><td colspan="3">２　地域に貢献する教育活動の推進</td></tr>
<tr><td colspan="3">(1)地域行事・ボランティア活動などを通じて社会に参画する態度を育む教育活動を推進します。</td></tr>
<tr><td>その他計画
の位置付け</td><td colspan="3">□基本構想実施計画　　□教育行政執行方針
□その他（　　）</td></tr>
<tr><td>事 業 名</td><td>地域と関わる教育活動の充実</td><td>担当課</td><td>教育指導課</td></tr>
<tr><td>事業概要
（目的等）</td><td colspan="3">地域行事・ボランティア活動などを通じて,社会に参画する態度を育む教育活動を推進する。</td></tr>
<tr><td>取組実績</td><td colspan="3">【取組実績】
・各学校では安全や防災に関わる教育活動や総合的な学習（探究）の時間などにおいて，地域と関わる取組を推進した。
・学校の実態に応じ，地域清掃活動や町会と協力した防犯パトロールを行うなど，町会行事へ参加するなどした。</td></tr>
<tr><td>成 果 と
課　　題</td><td colspan="3">【成果】
・各学校における安全や防災に関わる教育活動や総合的な学習（探究）の時間において，地域と関わる取組が推進されたほか，地域清掃活動や町会と協力した防犯パトロールなどを通して,社会に参画する態度を育むことができた。

【課題】
・地域社会に対する愛着を高めるため，ボランティア活動や地域行事など，豊かな体験活動の機会確保に努めていく必要がある。</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>○</td><td colspan="2">
<table>
<tr><th colspan="2">進　捗</th><th colspan="2">成　果</th><th colspan="2">課　題</th></tr>
<tr><td></td><td>予定どおり</td><td></td><td>成果が十分</td><td></td><td>課題はない（ほとんどない）</td></tr>
<tr><td>✔</td><td>概ね予定どおり</td><td>✔</td><td>成果が一定程度</td><td>✔</td><td>課題は小さい</td></tr>
<tr><td></td><td>やや遅れ</td><td></td><td>成果が不十分</td><td></td><td>課題はやや大きい</td></tr>
<tr><td></td><td>遅れ</td><td></td><td>成果が見られない</td><td></td><td>課題は大きい</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>今年度の
状　　況</td><td>継続</td><td colspan="2">コミュニティ・スクールの推進と関連付ける形で，地域の行事や児童生徒の体験的な活動の機会の確保が図られるよう，学校経営訪問や学校教育指導（要請訪問・訪問研修）等の機会を通じて指導・助言を行う。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="4">基本計画
の 体 系</td><td colspan="3">基本目標３　函館への愛着や誇りと未来へ飛躍する力の育成</td></tr>
<tr><td colspan="3">施策１　函館への愛着や誇りを育む教育の推進</td></tr>
<tr><td colspan="3">２　地域に貢献する教育活動の推進</td></tr>
<tr><td colspan="3">(2)地域住民や企業などとの連携を図りながら，地域課題の解決に取り組む学習機会の充実を図ります。</td></tr>
<tr><td>その他計画
の位置付け</td><td colspan="3">□基本構想実施計画　　□教育行政執行方針
□その他（　　）</td></tr>
<tr><td>事 業 名</td><td>地域と連携した学習活動の充実</td><td>担当課</td><td>教育指導課</td></tr>
<tr><td>事業概要
（目的等）</td><td colspan="3">地域住民や企業などとの連携を図りながら，地域課題の解決に取り組む学習機会の充実を図ります。</td></tr>
<tr><td>取組実績</td><td colspan="3">【取組実績】
・小学校３，４年生において，社会科副読本「わたしたちの函館」を活用し，地域学習を行った。
・社会科の授業や総合的な学習（探究）の時間等において，地域課題の解決に取り組む地域学習を行った。
・地域住民や企業と連携し，防災や生活安全，性犯罪・性暴力等に関わる学習を実施した。</td></tr>
<tr><td>成 果 と
課　　題</td><td colspan="3">【成果】
・地域人材を活用した外部講師による授業を実施するなど，地域住民や企業などと連携した取組を工夫して実践したことにより，地域社会の課題やその解決方法などについて，効果的に学ぶことができた。

【課題】
・各学校において，学校内外を通じた児童の生活の充実と活性化を図るため，自校の課題に応じた学習活動や外部講師を活用した教育活動に，計画的に取り組む必要がある。</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>○</td><td colspan="2">
<table>
<tr><th colspan="2">進　捗</th><th colspan="2">成　果</th><th colspan="2">課　題</th></tr>
<tr><td></td><td>予定どおり</td><td></td><td>成果が十分</td><td></td><td>課題はない（ほとんどない）</td></tr>
<tr><td>✔</td><td>概ね予定どおり</td><td>✔</td><td>成果が一定程度</td><td>✔</td><td>課題は小さい</td></tr>
<tr><td></td><td>やや遅れ</td><td></td><td>成果が不十分</td><td></td><td>課題はやや大きい</td></tr>
<tr><td></td><td>遅れ</td><td></td><td>成果が見られない</td><td></td><td>課題は大きい</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>今年度の
状　　況</td><td>継続</td><td colspan="2">各学校の取組の活性化を図るとともに，各学校や地域の実態に応じて，人的・物的資源を活用するなどの工夫・改善をより一層進めていくよう，学校訪問等の機会を通じて働きかける。</td></tr>
</table>

基本計画の体系	基本目標３　函館への愛着や誇りと未来へ飛躍する力の育成 施策２　未来へ飛躍する力を育む教育の推進 １　豊かな国際感覚を育む教育活動の推進 (1)諸外国の生活や文化を理解・尊重し，国際的に協調して取り組む重要性について考える国際理解教育の充実を図ります。		
その他計画の位置付け	□基本構想実施計画　　■教育行政執行方針 □その他（　　）		
事業名	国際理解教育の充実(高等学校)	担当課	市立函館高等学校，教育指導課
事業概要（目的等）	多様な選択科目を設定し，英語，中国語，およびハングルの授業を通し，国際理解教育の充実を図る。		

取組実績

【取組実績】
・英語以外の第２外国語を学びたい３年次生徒への対応として，選択科目を設定した。
・中国語およびハングルの授業では地域民間講師を招き，専門的な授業を行うなかで，文化や料理を紹介するなど，その国をより身近に感じられるよう工夫を行った。

【過去５年間の推移】第２外国語選択者数　　（単位：人）

区分	R3	R4	R5	R6	R7
第２外国語選択者数	25	18	17	17	10

※R6までは，3年次生6クラス(定員240人)。R7からは，3年次生5クラス（定員200人)。

成果と課題

【成果】
・中国語およびハングルの授業を開講し，英語以外の第２外国語を学びたい生徒の意欲に対応することができた。
・地域民間講師を招き，生徒に専門的な知識・技能を身に付けさせることができた。また，各言語の文化的な背景に触れ，生徒の国際的視野を広げる成果が得られた。

【課題】
・英語以外に２か国の外国語科目を設定していることは教育課程上大きな特色であり，これからの道南地域の観光産業発展を見据え，より多くの生徒が学ぶ機会が増えるような工夫を図るとともに，多様な生徒が選択できる教育課程を検討する必要がある。

評価

○

進捗		成果		課題	
	予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）
✔	概ね予定どおり	✔	成果が一定程度	✔	課題は小さい
	やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい
	遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況

継続

生徒に多様な学びの機会を提供するとともに，国際的な視野の重要性が増すなか，地域の有り様について課題意識を涵養させる取組を継続する。

基本計画の体系	基本目標３　函館への愛着や誇りと未来へ飛躍する力の育成 施策２　未来へ飛躍する力を育む教育の推進 １　豊かな国際感覚を育む教育活動の推進 (2)外国語活動および外国語の授業などを通じて児童生徒が異文化を理解し，協調する態度やコミュニケーション能力を育む教育活動の充実を図ります。		
その他計画の位置付け	□基本構想実施計画　　■教育行政執行方針 □その他（　　）		
事業名	英語教育，外国語活動の充実	担当課	教育指導課
事業概要（目的等）	外国語教育に関する研修を通して，異文化を理解し，協調する態度やコミュニケーション能力を育む教育活動の充実を図る。		
取組実績	【取組実績】 ・コミュニケーション能力の向上に向け，ＡＬＴ（外国語指導助手）８名および外国語活動サポーター（以下，「サポーター」）８名の派遣を行った。 ・児童生徒がネイティブ・スピーカーと会話する機会を増やすため，複数のＡＬＴを活用した授業を複数の小学校で実施した。 ・「小学校外国語活動サポーター研修」を実施し，小学校外国語活動の指導のあり方やサポーターとしての役割（外国語を話すこと，言語や文化についての知識を伝えること等）について，協議や交流を通じて理解を深め，市内の小学校における外国語活動の充実を図った。		
成果と課題	【成果】 ・複数のＡＬＴによる授業を実施した際に，ネイティブ・スピーカーと会話をする機会を増やすなど，児童生徒の学びの充実につなげることができた。 ・研修等を通じて，外国語を用いたコミュニケーション能力の向上に向けた授業改善の必要性について，サポーターの理解を深めることができた。 【課題】 ・外国語を用いたコミュニケーション能力の向上に向け，小学校外国語活動の指導のあり方やサポーターの効果的な活用等への理解を深めさせ，教育活動の充実を図る必要がある。		

評価	○	進捗		成果		課題	
			予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）
		✔	概ね予定どおり	✔	成果が一定程度	✔	課題は小さい
			やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい
			遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況	**継続**	授業改善の取組に向け，公開授業等の研修会を通して，外国語を用いたコミュニケーション能力の向上をめざした教育活動の充実を図る。

基本計画の体系	基本目標３　函館への愛着や誇りと未来へ飛躍する力の育成 施策２　未来へ飛躍する力を育む教育の推進 １　豊かな国際感覚を育む教育活動の推進 (3)海外留学や国際交流活動などを通じて，外国人との交流機会の充実を図ります。
その他計画の位置付け	□基本構想実施計画　　■教育行政執行方針 □その他（　　）

事業名	市立函館高等学校海外留学事業の推進	担当課	市立函館高等学校

事業概要（目的等）

21世紀のグローバル社会に対応できる人材育成を目的とし，市立函館高等学校の生徒を本市の姉妹都市等の高校へ派遣し，外国語による実践的コミュニケーション能力の育成などに向けた取組を推進する。

取組実績

【取組実績】
・２年次生徒を対象に，海外留学事業としてオーストラリアへの留学を実施した。

【過去５年間の推移】市立函館高等学校海外留学事業派遣生徒数　（単位：人）

区分	R3	R4	R5	R6	R7
オーストラリア	―	―	9	10	10
ブリティッシュ・ヒルズ	10	10	10	―	―

※R3・R4は新型コロナウイルス感染症拡大のため，代替事業としてブリティッシュヒルズ（福島県にある民間の英語研修施設）への派遣
※R5はオーストラリアと英語研修施設へ派遣

成果と課題

【成果】
・海外留学事業に選考された生徒について，海外留学事業への参加により語学のスキルアップが図られた。

【課題】
・１年次の生徒・保護者が安心して応募できるよう，丁寧な情報提供を推進する。

評価

○

進捗		成果		課題	
	予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）
✔	概ね予定どおり	✔	成果が一定程度	✔	課題は小さい
	やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい
	遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況

継続

海外留学事業を実施し，外国語による実践的コミュニケーション能力の育成などに向けた取組を推進するとともに，かけがえのない機会を多くの生徒に体験させる環境の充実に努める。

基本計画の体系	基本目標３　函館への愛着や誇りと未来へ飛躍する力の育成 施策２　未来へ飛躍する力を育む教育の推進 ２　キャリア教育の推進 (1)児童生徒が社会的・職業的自立に向けて望ましい職業観・勤労観などを身に付けるために，キャリア・パスポートを活用するなど，発達の段階に応じたキャリア教育の充実を図ります。		
その他計画の位置付け	□基本構想実施計画　　■教育行政執行方針 □その他（　　）		
事業名	職場体験学習の推進	担当課	教育指導課
事業概要（目的等）	児童生徒の社会的・職業的自立に向けて，望ましい職業観・勤労観などを身に付けるために，児童生徒の発達の段階に応じた職場体験学習などの充実を図る。		
取組実績	【取組実績】 ・各学校において，各教科，特別の教科　道徳，総合的な学習（探究）の時間，特別活動など，教育活動全体を通じて，社会的・職業的自立に向けて必要な基礎となる資質・能力の育成を図った。 ・各学校においては，職場見学や職場体験，講師を招いての講演会を行うなど，内容を工夫し，教育活動の充実を図った。 ・児童生徒が自分の記録を高校生まで蓄積できる「キャリア・パスポート」のファイルを各学校に配付し，ファイルを活用した計画的・体系的な取組を行った。 ・キャリア教育の充実を図るため，「はこだてっ子職場体験協力事業所一覧」への掲載について，多様な業種から協力が得られるよう企業団体や業界団体に周知した。		
成果と課題	【成果】 ・各学校で実施方法を工夫し，職業観や勤労観を身に付けさせる教育活動を実施することができた。 ・「キャリア・パスポート」の活用により，児童生徒の発達の段階に応じた計画的・体系的な指導を実施することができた。 【課題】 ・キャリア教育のより一層の充実を図るため，外部講師を活用した学習や，職場見学，職場体験の実施等を各学校に働きかける必要がある。		

評価	◎	進捗		成果		課題	
		✔	予定どおり	✔	成果が十分		課題はない（ほとんどない）
			概ね予定どおり		成果が一定程度	✔	課題は小さい
			やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい
			遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況	**継続**	外部講師の招聘，職場見学や職場体験等の実施，「キャリア・パスポート」の活用などを通じて，キャリア教育の充実を図る。

<table>
<tr><td rowspan="4">基本計画
の 体 系</td><td colspan="3">基本目標３　函館への愛着や誇りと未来へ飛躍する力の育成</td></tr>
<tr><td colspan="3">施策２　未来へ飛躍する力を育む教育の推進</td></tr>
<tr><td colspan="3">２　キャリア教育の推進</td></tr>
<tr><td colspan="3">(1)児童生徒が社会的・職業的自立に向けて望ましい職業観・勤労観などを身に付けるために，キャリア・パスポートを活用するなど，発達の段階に応じたキャリア教育の充実を図ります。</td></tr>
<tr><td>その他計画
の位置付け</td><td colspan="3">□基本構想実施計画　　■教育行政執行方針
□その他（　　）</td></tr>
<tr><td>事 業 名</td><td>進路指導の充実（高等学校）</td><td>担当課</td><td>市立函館高等学校，教育指導課</td></tr>
<tr><td>事業概要
（目的等）</td><td colspan="3">上級学校説明会，外部講師による講演会の実施，オープンキャンパスへの積極的な参加の奨励，長期休業中の講習の実施など，生徒のニーズに応じ，進路実現に向けた学習活動を推進する。また，本校の地域探究学習を通じ，地域の課題に対する当事者意識を涵養し，個々のキャリア形成に結び付けるよう働きかける。</td></tr>
<tr><td>取組実績</td><td colspan="3">【取組実績】
・各大学等のオンラインを含む大学説明会を積極的に活用するよう指導した。
・道内外の大学から講師を招聘し，出前講義を行った。
・長期休業中および平日の放課後に進学講習を実施した。
・多様な入試に対応する体制として，小論文指導・面接指導を全教員で実施した。
・本校教員が北海道・東北地区の国公立大学が主催する説明会や情報交換会にオンラインで参加した。
・学校設定科目「函館学」で取り組んでいる「地域探究学習」を通じ，地域が抱える様々な課題を，自分の生き方と結び付けて考えるように促し，進路目標の絞り込みにつなげた。

【過去５年間の推移】国公立大学現役合格者数　（単位：人）
<table><tr><th>区分</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>国公立大学合格者数</td><td>61</td><td>71</td><td>93</td><td>72</td><td>68</td></tr></table>※R6までは，3年次生6クラス(定員240人)。R7からは，3年次生5クラス（定員200人）。</td></tr>
<tr><td>成 果 と
課　　題</td><td colspan="3">【成果】
・多様な職業人や大学関係者と直接，接することを通じ学問研究のイメージを具現化させ，地域が抱える様々な課題を自分の生き方，キャリア形成へ結び付けて考えさせることができた。
・生徒本人や保護者との個別面談を繰り返し行い，一人ひとりの進路希望に即した適切な情報提供をすることができた。

【課題】
・進学すること自体を目的としない進路指導のあり方について，キャリア教育の視点から常に見直すことが必要である。
・地域が抱える各種課題を，生徒それぞれの生き方に結び付けるように促し，将来地域を支える人材の育成につなげる必要がある。</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>○</td><td colspan="2">進　捗
□ 予定どおり
✔ 概ね予定どおり
□ やや遅れ
□ 遅れ</td><td colspan="2">成　果
□ 成果が十分
✔ 成果が一定程度
□ 成果が不十分
□ 成果が見られない</td><td>課　題
□ 課題はない（ほとんどない）
✔ 課題は小さい
□ 課題はやや大きい
□ 課題は大きい</td></tr>
<tr><td>今年度の
状　　況</td><td>継続</td><td colspan="4">社会の変化に適応し，Society5.0において求められる資質・能力の育成をベースとしたキャリア教育の観点から，本校の進路指導の充実を推進する。</td></tr>
</table>

基本計画の体系	基本目標３　函館への愛着や誇りと未来へ飛躍する力の育成 施策２　未来へ飛躍する力を育む教育の推進 ２　キャリア教育の推進 (2)様々な企業などと連携を図りながら，児童生徒の興味や適性に応じた，職場見学，職場体験活動，インターンシップなどの取組の充実を図ります。		
その他計画の位置付け	□基本構想実施計画　　■教育行政執行方針 □その他（　　）		
事業名	【再掲】職場体験学習の推進	担当課	教育指導課
事業概要（目的等）	児童生徒の社会的・職業的自立に向けて，望ましい職業観・勤労観などを身に付けるために，児童生徒の発達の段階に応じた職場体験学習などの充実を図る。		
取組実績	【取組実績】 ・各学校において，各教科，特別の教科　道徳，総合的な学習（探究）の時間，特別活動など，教育活動全体を通じて，社会的・職業的自立に向けて必要な基礎となる資質・能力の育成を図った。 ・各学校においては，職場見学や職場体験，講師を招いての講演会を行うなど，内容を工夫し，教育活動の充実を図った。 ・児童生徒が自分の記録を高校生まで蓄積できる「キャリア・パスポート」のファイルを各学校に配付し，ファイルを活用した計画的・体系的な取組を行った。 ・キャリア教育の充実を図るため，「はこだてっ子職場体験協力事業所一覧」への掲載について，多様な業種から協力が得られるよう，企業団体や業界団体に周知した。		
成果と課題	【成果】 ・各学校で実施方法を工夫し，職業観や勤労観を身に付けさせる教育活動を実施することができた。 ・「キャリア・パスポート」の活用により，児童生徒の発達の段階に応じた計画的・体系的な指導を実施することができた。 【課題】 ・キャリア教育のより一層の充実を図るため，外部講師を活用した学習や，職場見学，職場体験の実施等を各学校に働きかける必要がある。		

評価	◎	進捗		成果		課題	
		✔	予定どおり	✔	成果が十分		課題はない（ほとんどない）
			概ね予定どおり		成果が一定程度	✔	課題は小さい
			やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい
			遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況	**継続**	外部講師の招聘，職場見学や職場体験等の実施，「キャリア・パスポート」の活用などを通じて，キャリア教育の充実を図る。

基本計画の体系	基本目標３　函館への愛着や誇りと未来へ飛躍する力の育成		
	施策２　未来へ飛躍する力を育む教育の推進		
	３　科学技術への関心を高める教育活動の推進		
	(1)科学技術の基礎となる理科，算数・数学に対する関心を高めるため，観察，実験などの教育活動の充実を図ります。また，実生活との関連がある課題や科学的な体験などを取り入れた授業の充実を図ります。		
その他計画の位置付け	□基本構想実施計画　　□教育行政執行方針 □その他（　　）		
事業名	理科，算数・数学の授業の充実	担当課	教育指導課
事業概要（目的等）	算数・数学科に関する教員研修を実施し，数理的に考察し表現する能力や算数・数学の楽しさを生活や学習に活用しようとする態度を育む学習指導のポイントについて理解を深め，指導力の向上を図る。		

取組実績

【取組実績】
・南北海道教育センターの研究事業において，算数・数学科の授業づくりや授業公開等を行った。
・学校教育指導（要請訪問）における指導・助言を行った（特設授業実施校は，算数・数学科が13校，理科が２校）。

【過去５年間の推移】学校教育指導（要請訪問）における特設授業の実施校数（単位：校）

区分	R3	R4	R5	R6	R7
算数・数学科	22	22	17	20	13
理科	2	7	6	5	2

成果と課題

【成果】
・南北海道教育センター主催の専門研修や研究員の研究内容の発信・普及，さらには学校教育指導（要請訪問）の際の指導・助言等により，教員の授業改善についての意識の向上を図ることができた。

【課題】
・「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善がより一層図られるよう，指導・助言の質を向上させる必要がある。

評価　○

進捗		成果		課題	
	予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）
✔	概ね予定どおり	✔	成果が一定程度	✔	課題は小さい
	やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい
	遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況	**継続**	各学校において，「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が効果的に進められるよう，専門研修の内容や研究員の研究内容，さらには指導主事による指導・助言の質の向上を図ることで，児童生徒の科学的思考の基礎となる理科，算数・数学に対する関心を高めていく。

<table>
<tr><td rowspan="4">基本計画
の 体 系</td><td colspan="3">基本目標３　函館への愛着や誇りと未来へ飛躍する力の育成</td></tr>
<tr><td colspan="3">施策２　未来へ飛躍する力を育む教育の推進</td></tr>
<tr><td colspan="3">３　科学技術への関心を高める教育活動の推進</td></tr>
<tr><td colspan="3">(2)科学技術への関心を高めるため，学術研究機関などと連携し，教育活動の充実を図ります。</td></tr>
<tr><td>その他計画
の位置付け</td><td colspan="3">□基本構想実施計画　　□教育行政執行方針
□その他（　　）</td></tr>
<tr><td>事 業 名</td><td>科学技術に関する教員研修等の推進</td><td>担当課</td><td>教育指導課</td></tr>
<tr><td>事業概要
（目的等）</td><td colspan="3">児童生徒の理数教育や科学技術への関心を高めるため，学術研究機関等と連携した取組を実施する。</td></tr>
<tr><td>取組実績</td><td colspan="3">【取組実績】
・各教科での学習を実社会で問題発見・解決に生かしていくために,教科等横断的なＳＴＥＡＭ教育を推進した。
＜北海道大学地域水産業共創センターとの連携＞
市内小・中学校６校において，北海道大学水産学部による出前授業や大学訪問を行い，函館近郊の海における昆布や鯨・イルカの生態および実態や，昆布から抽出できるアルギン酸について，実験を通して学んだ。
＜函館市国際水産・海洋総合研究センターとの連携＞
市内小学校７校において，海に関する出前授業を行った。
＜ＪＡＭＳＴＥＣ（国立研究開発法人海洋研究開発機構）との連携＞
市内小学校２校において，ＪＡＭＳＴＥＣが作る海洋ＳＴＥＡＭ教材づくり（地球温暖化と海の役割,マリンスノー）に協力した。
・南北海道教育センター主催の「授業改善」に関する研修において，１人１台端末を効果的に活用した算数科の授業を公開し，ＩＣＴの活用・推進を図った。</td></tr>
<tr><td>成 果 と
課　　題</td><td colspan="3">【成果】
・出前授業や大学訪問等における体験学習を通じて，児童生徒が海洋生物をより身近に感じ，海洋生物に対する関心を高めることができた。
・本市の地域資源である「海洋」に関するＳＴＥＡＭ教育について，取組を推進できた。
・南北海道教育センター主催の教員研修を複数回実施することで，教員の資質向上を図ることができた。
【課題】
・１人１台端末を活用した指導が進められているが，科学技術への関心をさらに高めるため教員研修の充実を図る必要がある。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">評　　価</td><td rowspan="5">◎</td><td colspan="2">進　捗</td><td colspan="2">成　果</td><td colspan="2">課　題</td></tr>
<tr><td>✔</td><td>予定どおり</td><td>✔</td><td>成果が十分</td><td></td><td>課題はない（ほとんどない）</td></tr>
<tr><td></td><td>概ね予定どおり</td><td></td><td>成果が一定程度</td><td>✔</td><td>課題は小さい</td></tr>
<tr><td></td><td>やや遅れ</td><td></td><td>成果が不十分</td><td></td><td>課題はやや大きい</td></tr>
<tr><td></td><td>遅れ</td><td></td><td>成果が見られない</td><td></td><td>課題は大きい</td></tr>
<tr><td>今年度の
状　　況</td><td>継続</td><td colspan="5">学術機関等と連携した取組や教員研修の実施等を通じて，児童生徒の科学技術への関心を高める教育活動の充実につなげていく。</td></tr>
</table>